

子山ホーム だより

第80号



児童養護に携わって46年

ある日の新聞に、小学生が書いた作文が載っていました。題は「笑い声、6倍」少し紹介しますと、「ぼくのうちはいつもうるさい。大笑いしてころげ回することは毎日だし、大声でおこれることもしょっちゅうだ。……略……よく、お父さんとお母さんが、「家族はチームだ」と言う。家族みんなで心配し、みんなでかなしみ、みんなで助け合い、みんな喜び、みんな笑う、そうやって、乗り越えていくんだって。よくわからないけど、家族が多いのも悪くはないなって、少し思った。……略……ぼくのうちはいつもうるさい。だけど、わらい声も6倍！こんなにぎやかなチームが、ぼくは大好き。」私の46年の歩みはまさにこのような家族の在り様を求め続けてきた。そして、座右の銘としてきた「人と人との関係は時間も空間も超えることができる」との恩師の和田先生の言葉を常に心に留め子どもたちとの関係を刻んできました。今それを振り返るとそこにはわくわくするような新しい出会いと出来事の連続でありました。人には自分で目標を決め、自分の力で推し進めてきたように見えていたかもしれませんが決してそうではありません。人の力の及ばない何か偶然の結果のようにも思います。私の人生もう少し続く。「温故知新（昔の事をたずね求めて、そこから新しい知識・見識を導く）」を胸に歩み続けたいと思う。新しいわくわくするような出会いを求めて。29年の子山ホームでの出会いに感謝と誇りを込めて。みんなに「ありがとう。これからもよろしく。」

前園長 森田 雄司



園長就任挨拶

子山ホームだよりをご覧の皆さま「こんにちは！」この4月より園長に就任いたしました「吉田 正浩（よしだ まさひろ）」と申します。私はこれまで子山ホームの現場で児童指導員・家庭支援専門相談員（FSW）・副園長を務めていただけてきました。今改めて子山ホームの歩みを振り返ると創設者「ミス・エーネ・パウラス」先生が昭和24年に養護施設として認可を受け、その後大橋信雄園長が昭和35年から42年間、森田雄司園長が平成14年から17年間園長職を務めあげていただきました。そして倉庫から古い資料を引っ張り出して調べてみたところ、子山ホームの入所児童数は昭和27年より令和元年7月1日付まで延べ人数で707名が子山ホームで暮らしてきました。また、昭和24年の認可から今年度で子山ホームは70年が経ち、人間でいうところの古希のお祝いにあたります。このような節目の年に子山ホームの園長という職に就任させていただき、その歴史やこれから先の子ども達の暮らしや職員の方々の生活を預る立場等々、その責任の重さに改めて身の引き締まる想いです。常に謙虚さと素直さを忘れずに、子山ホームの歴史に恥じぬようにエーネ・パウラス先生のキリスト教の愛の精神により、健康的で家庭的な環境の下で、のびのびと明るく自由に育つことが出来るように支援します。そして、最善のケアと子どもたち一人一人の幸せ（笑顔）を目指します。それは、イコール職員集団（チーム子山）に対しても同じと考えています。今後とも益々のご指導・ご鞭撻ご協力をよろしくおねがいいたします。

子山ホーム 園長 吉田正浩



2019年度（平成31年度、令和元年度）

生活基本計画

園長 吉田正浩

森田園長が勇退されました。船に例えてみると、長年にわたり子山ホームという船の舵を取られてきた船長が、新米の船長（園長）に交代したのです。通常であれば、これはもう一大事だと普通は考えます。しかし船には船長の他、航海士・機関長・機関士・通信士・部員（甲板・機関部・事務部）と、それぞれのプロフェッショナルがおります。

私は、子山ホームも船と同じだと思っています。皆さんには、ご自分の持ち場・立場・役割をお任せいたします。その持ち場でみなさんが力を発揮できるようにしていくのが私の役割の一つだと考えています。私は今後、園長という役割をしっかりと全うできるように努力・精進いたします。どうか、この子山ホームという大きな船がしっかりと一丸となれるように頑張っていきましょう。

生活目標

「原点に戻り、
全ての事に
感謝しましょう」



私達職員は今の生活があること、子どもたちがいる事、それら全てが当たり前のこととしていないでしょ、うか、子ども達への話し方・伝え方・接し方、全てをもう一度、それぞれ自分たちの原点へ戻って考えてみましょう。うれしさ・喜び・楽しさ・やりがい等々と言ったプラスの感情から、不平・不満・やるせなさ・怒り等々マイナスの感情等がまだまだ沢山あることでしょう。しかし、それらも子どもたちが安全に安心して居てくれることで、我々のやりがいになること、また人として何が大切かを、気付かせてくれます。子ども達と共に居る事、そこで起こる一つ一つに感謝できる気持ちになれた（戻れた）なら、必ず今までとは違う世界観が見えて来る事と思えます。常にはとはいかなくても、立ち止まり・振り返る時、全てに感謝してみよう。心境になれるよう意識をしてみよう。

そして、今、世の中がどの様に動いているのか、児童福祉がどういう方向へ進むものかというのかという事にも敏感になりましょう。

養育目標

① 15歳からの養育 ② 安全委員会方式

① 15歳からの養育とは

- ・ ① 15歳から15歳まで私たちが行っている養育
- ・ 自分が生まれてきたことを条件付けなしに祝福される養育。
- ・ 周囲の人とあたたかいかわりの中で生きられる養育。
- ・ 日常の何気ない豊かな生活体験や生活に根差した文化体験を持つ養育。
- ・ 自分が成長している、成長できているという実感がある養育。
- ・ ※良い所に着目し、子ども達の成長するエネルギーを伸ばしましょう。
- ・ ② 15歳から私たちが行うべき支援とは。

・ 自律の感覚、つまり自分の人生の主人公として責任を持つことの出来る支援。自分の力を試す場があり、かつ失敗してもやり直せる機会がある支援。

・ 生活力や人間関係を意識した指導である支援。

・ 自分は、この社会から見捨てられているわけではない、祝福された存在であり、自分には未来があり希望があると実感できる支援。

・ ※15歳からの支援を意識して生活をしていきましょう。

② 安全委員会方式（森田前園長）

・ 安全委員会方式の導入は「非暴力運動」として捉えます。

・ 安全委員会方式とは、ただ単に暴力（性暴力も含む）が起こった時、問題解決を図る一つの方法ではなく、人間が本来持っている暴力の特性を、子どもたちが暮らす施設の中で、大人も子どもと一緒に無くしていく非暴力を旨とする活動です。

・ 施設における非暴力の活動とは、絶えず暴力という解決方法しか体験しないで入所してくる子ども達に、自分の行動を言語化し、暴力を振るうことも振るわれることも喜びや癒し、そして未来に繋がらないという危機感と緊張を作り出す活動です。

・ 暴力は、人類の永遠の課題です。ですから、対処療法ではだめであり、根本的に解決する方法を考えるべきであります。その一歩として、私たちは、施設に暮らす未来を生きる子ども達に、しっかりと「暴力はダメ」というメッセージを贈るべきであります。

※安全委員会方式は、施設にいる時だけの安全・安心のスキルシステムではなく、子どもたちが社会人・家庭を持った時にも、心に刻む大切なメッセージです。私たちは、大人の一人として次代を担う子ども達へ継承していきましょう。



令和元年

新たな出発!!

NEW

僕たち 新小学一年生

「一年生になって何を頑張りたい？」
じてんしゃをはやくるようにしたい。
もっとはやくなりたい。

小1 M・K

「頑張っている事は何？」

べんきょう?あと、子山ホームになれること。

小1 S・K

「一年生の目標は何かな？」

いじめをしない。あとはがんばって仮面ライダーになる。

小1 K・S

進級会



進級会後はそれぞれのホームが趣向を凝らした楽しい昼食を終えて、笑顔に満ち、新しい門出を祝うにふさわしい1日でした。

児童指導員 赤間 裕匡



祝 進級おめでとう

今年も「進級会」が行われました。ホームの皆が集まり、また、日頃お世話になっている方々にもご来園頂き、進級の喜びを分かち合いました。今年度は新しく改修された集会室で行われ、新小学生2名、新中学生3名、新高校生6名になりました。また、2名の幼児さんがごとも園に入園。それぞれの期待と不安の入り混じりながらも、それぞれが希望に満ちた抱負を語りました。

新管理棟完成! NEW

<事務所・集会室>

平成27年9月、児童棟りんどうホームを皮切りに行ってきた子山ホームの改修工事。1年のブランクを経て、昨年事務所・集会室をメインに管理棟の改修工事を終え、新吉田園長の下子山ホームも新しく生まれ変わりました。太平洋を窓越しに見下ろし、以前より木材を多く使用した明るく温もりのある事務所。一回り広くなり、子ども達の活動、諸会議等幅広く使用出来るようになった集会室。今まで以上に、子ども達が安全で安心して生活出来る子山ホームである為に支援していきたいと思います。



園庭の遊具もペンキで
生まれ変わりました



以前、子山ホームで絵画教室を開いてくださったこともある浅香良太夫妻が今回の管理棟の改修にあたり、園庭の遊具をカラフルにかわいらしくペインティングしてくださいました。ありがとうございました!

新 高校生会 in 小見川

今年度は、千葉県香取市にある小見川少年自然の家で、毎年恒例の新高校生会を実施しました。今回参加した子どもは11名うち新たに高校生となる子どもが6人でした。子山ホームで掲げている「15歳からの養育」は15歳から子山ホームの中では人とみなし、自分の言動に責任を持つ。職員も一人の大人として接するよう意識する。を元に、新たに高校生としての生活を始めるための意識付けとしての大事な行事です。

今回はゲストに就労支援やアフターケアを専門に活動している「フェアスタート」スタッフの永岡さんと青山さんをはじめ、卒園生の相談に乗ってくださったり、食事を開いて同窓会の場を提供してくれているソニー生命さんに参加していただき卒園してからではなく、在園から子どもたちとつながってもらうことを強く意識した高校生会となりました。

例年よりもゲストと子どもの
新任保育士 高山 珠緒

児童指導員 池口 豊

会話を増やし、多くのコミュニケーションをとれるようなプログラムを組んでくださり、その甲斐もあって非常に和気あいあいとした雰囲気の中、日程を終えることができました。年長児が新一年生に高校生としての生活のルールを教え、それをさらにみんなで話し合い、ルールを精査して新しいものを作る。それを長い間繰り返して、子山ホームの歴史と現在を作っているのだと実感できるとても素敵な1泊2日となりました。

新任保育士 成田 美冬

新高1 S・S

高2 M・Y

新高1 C・N

迷わず行けよ!!
行けばわかるさ!!

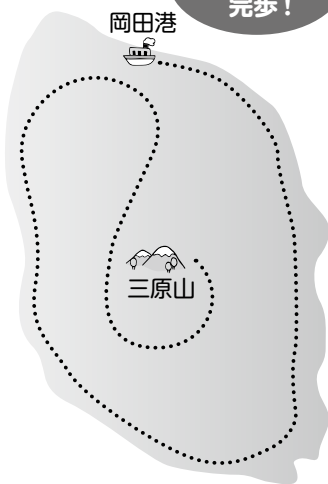
～中3行事～ 15歳節目のチャレンジ! 伊豆大島1周! 三原山登山!



計76km
完歩!

今年も中学三年生の子ども達と一緒にナイトウォークを行いました。今回は大島一周と三原山登山を含めてのナイトウォークを実施しました。全体の距離数は大体70キロメートルで、例年に比べて短い距離となってしまいましたが、今年は登山も道中入っており、長い長い上り坂を登りました。始まりはジェットフェリーに乗り楽しい楽しい始まりだったのですが、やはりそこはナイトウォーク、例年通り徐々に私たちの身体と精神を疲労がむしぼんでいきました。特に日が落ちると人間というのは不思議なもので暗い所を歩いていると自然と会話がなくなり辛さが勝ってきました。するとさっさと意気揚々と話していた子ども達も気が付くと淡々と一歩を踏みしめるだけの、辛く苦しい行事の幕開けでした。それに輪をかけるように、子どもたちの足がボロボロになっていきました。そのボロボロの足で、頑張って山道を登り、今度はゴールまで下っていく姿には勇気をもらいました。さすが中3生といったところですよ! お疲れさま!

児童指導員 菅野 穰



もう中学生!!
乗り越えてゆけ!!

小6行事

横浜駅→久里浜港→望みの門
かずさの里→子山ホーム



計111km
完歩!

まー普通の6年生だったら小学校の卒業式の次の日に2日で100キロを歩くなんて思いまけんよ。そもそも2日で100キロも歩くなんて考えられないのに100キロではなく、110キロ以上も歩く、足への負担がはんぱない。60キロぐらい歩く「これから110キロ歩くのに調子乗るすぎたかな」と後悔したのを今でも覚えています。でも、さいごまで歩けた良かった! みんな卒業行事の時はいくら調子に乗るんだよ。

新中1
Y・H



今年の小6卒業行事は横浜から子山ホームまで約110キロの行程を2日間かけて歩いてきました。
2日間を通してフェリーで東京湾を渡ったり、望みの門かずさの里で宿泊させてもらったりと貴重な体験をさせて頂きました。かずさの里の皆さん、お世話になりました。ありがとうございました!!
途中で折れてリタイアの文字が浮かぶなか、折れずに最後までやり遂げられ全員の絆ができたように思います。
参加した子どもたちには称賛の言葉を送りたい。おめでとう! お疲れ様!
児童指導員 越川 清隆

1/2 成人式 15の誓い



ぼくのゆめはかじ屋です。なんでかって言うとペーパーナイフをつくったからです。

どんなかじ屋になるかという日本の名門のかじ屋です。

目ひょうはソフトボールのキャプテンです。チームをひっぱっているキャプテンです。

小5 K・K



わたしのしょうらいの夢は、病院のかんごしさんになることです。

なぜかというわたしの母さんが病院のかんごしさんをやっているから、えらびました。

わたしは、しょうらいのゆめがかんごしさんといういいなあとおもいました。病院のかんごしさんががんばってやります。

小5 K・T

開園記念行事

今年も5月3日、子山ホームの運動会と開園記念行事が行われました。

前日の天候不良でグラウンドの利用が厳しいか・・・?と思われる場面もありましたが、当日は天候も持ち直して、子ども達だけでなく職員たちも全力で楽しむことができました。

当日の企画、準備を手伝ってくれた子ども達には感謝しかありません。来年度も子ども達と協力し、子ども達が主となる活動にしていきたいと思っています。

児童指導員 赤間 裕匡





YAMATHON 2019

山手線の駅区間を歩いて一周し、すべての駅を制覇するチャリティーイベントに子山ホームの子ども達と職員が3年連続で参加しました。フルチャレンジ・ハーフチャレンジ共に全員制覇することが出来ました。普段感じる事のない都会の匂い、建物の高さ、行きかう人々、スイーツの甘さに子どもたちは目を輝かせていました。

児童指導員
藤巻 学



ヤマソンに私はハーフ組として初めて参加させていただきました。ゴールまでの道のりを自分達で調べ、歩く中で東京の街をあまり歩いた事もなかったので色んな景色や雰囲気を感じられとても楽しかったです。

一緒に歩いたボランティアの方が東京に住んでいるとの事で道中に東京の街に関して色んな話を聞いたりすごくいい経験になりました。

新任保育士 松田 愛羅

2019 SPRING 思い出

やったぜ!! オールいすみ全国3位 ソフトボール

平成31年3月23～26日、高知県高知市において第12回春季全日本小学生男子ソフトボール大会が行われ、千葉県代表としてオールいすみが出場しました。オールいすみは市内3チームによる連合チームで、子山ホームからも5名の選手が参加しました。全員が人生初となる全国大会の舞台に立ち、準決勝進出。全国第3位という輝かしい成績を残しました。何もかもが初めての経験で緊張しましたがトップレベルのチームと戦い、一生ものの経験をする事が出来ました。今後も応援よろしくお願い致します。

保育士 大竹貴博

子山 SBC 新旧キャプテンインタビュー

NEW
キャプテン

みんな普段の基本的な練習をしっかりとやって、大きい大会で勝てるようなチームになるように、力を合わせてがんばろう! 低学年の子ども練習すればきっとうまくなれるよ。まっ MVP は俺だけだね。

小6 K・H

旧
キャプテン

自分たちがやっていたころの練習で、良い部分は残して変える所はみんなで話しあって変えていって強いチームを作ってください。オールいすみも子山ソフトも両方強くなるように応援しています。

(現中1) S・K



ウォークラリー

with ソニー生命



毎年恒例、ソニー生命の皆様とのウォークラリー大会。大原と言ったら、大原はだか祭り。子山ホームのある東海小学校学区の5つ神社をソニー生命の方々と一緒に、歩く中で東海地区の歴史・史跡を体験。途中難問クイズに答え、昼食は各自手作りのおにぎりを食べ、撮影ポイントでグループ毎に素敵な写真を撮影。また、参加賞と上位3チームに商品をソニー生命の方々から頂くなど、楽しい時間を一緒に過ごす事が出来ました。1日有難うございました。

事務長兼児童指導員 是枝 満秋



クイズ 北日在日月神社で一句

目に見えぬ 神にむかいて 拝するは
〇〇〇〇 誠なりける

〇〇〇〇 入る言葉は? 答えは最後のページ

職場体験

夢と希望にみちた 未来へ向けて

春休みには中学生3名が都内へ自分たちだけで電車を使い、職場体験をしました。時間に遅れることなく目的地に到着し、レンタルショップとドッグトレーナーのお仕事を体験。周りの人とコミュニケーションをとりながら仕事をする事の大切さと楽しさを実感できたようです。貴重な機会を提供してくださった企業の皆さま、仲介してくださった NPO 法人ブリッジフォースマイルの皆さまありがとうございました。

児童指導員 藤巻 学

TSUTAYA でのインターンシップでは、DVDのバックや、返却されたDVDを裏返しにして整理するのはとても大変だったけど、人生で初めてやった事だったのでとても楽しくしくやる事が出来ました。とてもいい経験ができました。ありがとうございました。

中2 K・Y

今回は TSUTAYA でのインターンシップで仕事の大変さ、楽しさなどを知れてうれしかったです。仕事では、コミュニケーションをとっていきながら進めていった方がいいと思いました。商品のバックや返却などが難しかったです。これからバイトをした時などにいかせていけたらいいなと思っています。ありがとうございました。

中2 T・T

今回はインターンシップに参加させていただきありがとうございました。大好きな犬とふれあえたことが一番楽しかったです。また、働くことの大変さも分かることができ、貴重な体験でした。帰ってから学んだことをホームで飼っている犬(モカ)で試してみました。360度用の歯ブラシも慣れました。前よりもすこし賢くなつてうれしいです。2日間、色々教えて下さりありがとうございました。将来犬にかかわる仕事につきたいと思いました。

中3 R・S

インターンシップ





むらやま みゆうし
村山 美勇士 児童指導員

今年度から子山ホームで児童指導員として勤務することになりました村山美勇士です。元々は保育士の免許を取り保育園で働きたいと考え専門学校に通っていましたが、子どものこと、関連機関のことなど学んでいくうちに施設で働きたいと思うようになりました。そこで子山ホームさんとお会いここで働きたいと考え、お世話になることになりました。

子山ホームで働き始めて日が浅く、初めてのことばかりで慣れず目まぐるしい日々ではあるのですが、子どもと遊んだり話したりなど色々なことをして過ごす楽しい日々だと感じています。これから子どもたちと色々なことをして色々なことを学び、子どもたちの成長を見守ると共に自分も成長をし、子どもたちから頼られる存在になれるように頑張っていきたいと考えています。よろしくお願い致します。



おのでら なおき
小野寺 直輝 児童指導員

子山ホームで新人職員として働かせていただいています、小野寺直輝です。実際にホームで過ごして、自分がまだ未熟なので悩んだり大変だと思うことだらけですが先輩職員の方々に助けられながら過ごしています。1年目ですがわからないことや不慣れな点もたくさんありますが、自分なりに精一杯頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。



今年度2名の新任指導員さんと3名の新任保育士さんが、新たに仲間として加わりました。



なりた みふゆ
成田 美冬 保育士

今年度から保育士として働かせていただく成田と申します。もともと高校で介護福祉、専門学校で精神保健福祉を学び、心と身体のケアができる介護士になりたいと感じていました。しかし実習に行くと100歳近い高齢者が、小さな頃の悲しい思い出を今も忘れられないでいたり、私と年齢が近い人が家族との関係に苦しみ、どうしようもできず暴れて入院していたりと、どちらの分野の支援においても子ども時代の経験や育ち方が大きく関わっている事に気付きました。そこで「年を重ねた時に素敵な事を忘れないでいられるようになって欲しい」と感じて児童福祉に興味を持ち、ご縁があって子山ホームで働かせていただくことになりました。時間をかけて多くを学び、子どもの心に寄り添い安心感を与えられる存在になっていきたいです。

今まで子どもとふれあう機会が殆ど無かったことや、児童福祉分野に関わる法律や制度の知識不足、現場慣れしていない事など、至らない点が多いと思いますがご指導のほどよろしくお願い致します。



たかやま たまお
高山 珠緒 保育士

こんにちは！今年度より子山ホームの職員になりました、高山珠緒です！

幼稚園教諭しか興味が無かった私が児童養護施設の職員を目指すきっかけとなったのは、子山ホームでの実習です。子どもと関わる職員さんに強く尊敬と憧れを抱き、他の施設やカンボジアの施設などを見ながらより児童福祉に対し興味を持ち、『やはり子山がいい』という想いが強く、入職させて頂きました。

『おとなは、だれも、はじめはみんな、こどもだった(しかしそのことを忘れずにいるおとなは、いくらもない)』

これは私が好きな本「星の王子さま」の冒頭です。私はこの言葉のように、自分が子どもだったことを忘れず、子どもに向き合って援助していける保育士になりたいです。

まだ私自身99年生まれのヒヨコで世間知らず且つ家事のスキルもなくご迷惑をお掛けしますが、先輩達のご指導ご鞭撻を受けつつ子どもとの生活を通し共に邁進していこうと思います。どうぞよろしくお願い致します。



まつだ あいら
松田 愛羅 保育士

今年度より入職致しました松田愛羅です。出身は兵庫県で子山ホームに入職と同時に移住してきました。

関西で生まれ育ってきた私は大学時代住み込みの児童養護施設を探していた際担任の先生の紹介により子山ホームを知りました。

今はフリーとして色々なホームに入らせていただいている中で職員の方々だけでなく子ども達からも色々助けられる事が多く周りに支えてもらうばかりですが、私も周りを支えられる存在になれるよう日々成長していきたいと思っています。

色々な事が新しいスタートとなる中で不慣れな事も多く失敗やご迷惑をおかけしてしまっていますが私なりに全力を尽くして頑張りますのでこれからよろしくお願い致します。



S市の川上様

寄付

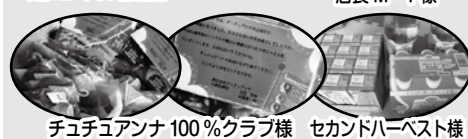
皆様のお気持ちで子ども達に届けました。心より感謝申し上げます。



コストコホームセンター
ジャパン株式会社
千葉ニュータウン倉庫店様

キクヤ様

エスト・パシピーノ
店長 M・T様



チュチュアンナ 100%クラブ様 セカンドハーベスト様



日本缶詰びん詰
レトルト食品協会様

卒園生のご友人の方

パルシステム様



野田市・佐藤様



茂原市 市原様



巨人の星様



職員 佐藤さんのご実家より寄贈
公用車として大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



元気いっぱい ひよこルーム

こんにちは。ひよこルームの小倉・大曾根・齋藤です。ひよこルームでは、就学前の幼児さんを日中の間保育をしています。現在は、女の子2名、男の子3名の元気な子ども達と一緒に楽しく過ごしています。発達に合わせて体を動かしたり、制作をしています。とても甘えん坊さんのメンバーなので、愛情をたくさんかけてあげられるようこころがけています。



バザーのお知らせ

会場が変わります!!

今年も子山ホームバザー開催の時期が近づいてまいりました！今年もより良い品を、お求めやすい価格で提供できますよう、また、お食事やアトラクションもお楽しみいただけますよう、スタッフ一同はりきって皆様をお出迎えいたしますので、ご近所お誘いあわせのうえご来場ください。日時は10月5日第一土曜日となります。会場は東海小学校に変更になりました!! 今後広報やチラシ、ポスター、ツイッターなどで詳細をお伝えいたします！

なお、引き続きご家庭で眠っている日用品・衣料・雑貨・おもちゃなどのご寄付いただけるものがありましたら幸いに存じます。ご協力のほどよろしくお願い致します。

連絡先 0470-62-2325 (代表) 児童指導員 藤巻 学

子山ホーム平成31年度会計報告

平成30年4月1日～平成31年3月31日

収 入 の 部		支 出 の 部	
措置費収入	295,884,931	人件費支出	209,823,395
補助金事業収入	7,877,860	事業費支出	62,495,196
経常経費寄付金収入	4,247,690	事務費支出	78,476,991
受取利息配当金収入	38	利用者等外給食費支出	4,418,550
受入研修費収入	370,580	固定資産取得支出	4,112,660
利用者等外給食費収入	5,400,050	積立資産支出	10,440,875
雑収入	671,388	拠点区分間繰入金支出	700,000
施設整備補助金収入	1,242,000		
拠点区分間繰入金収入	190,344		
施設整備等積立資産取崩収入	55,000,000		
		当期資金収支差額合計	417,214
合 計	370,884,881	合 計	370,884,881

2019年度 第一回子山ホーム後援会・幹事会

2018年度の後援会・会員の活動

- ・春の進級会参加（3月21日春分の日だと彼岸の中日にあたり出席しづらいという声もあり、今回より春分の日の週の土曜日へ変更する。）
- ・各ホーム活動補助（今年度も9ホームがそれぞれ単独や合同での一泊旅行・日帰りホーム行事を楽しみました。）
- ・秋のバザー協力（いすみ市農村環境改善センターにて実施）
- ・クリスマス会参加（管理棟改修工事により、いすみ市農村環境改善センターにて実施。：例年、一部礼拝 二部：祝会 三部：ディナーであったが毎年午前中にサンタバイクの訪問もあり、改修工事もあり二部祝会の練習場所もなかったという事も含め開始時間を少し夕方にずらして、二部祝会を大幅に縮小して三部ディナーと合体させた。今まで学校の先生方や地域の方々はディナーには欠席されることが多かったが殆ど出席して下さり、子どもたちの普段のホームでの表情が見れてよかった等好評であった。）
- ・後援会日賛助依頼活動（子山ホームだより配布時に後援会費振込用紙を同封その他）
- ・子ども活動費としてミュージカル劇団いすみっ子・会費補助（いすみっ子には4名参加、5月の子ども祭り、地域のチャリティーイベントなど数多くの公演に出演）
- ・卒園自立していく子どもたちへの自立支援金の補助を（今年は3名の卒園生・就職自立1名・大学進学自立2名：淑徳大学：駒澤大学）行いました。
- ・今年度終了した管理棟内部の外装や外壁塗装などにより魅力的な働きやすい環境・空間創りの改修工事に資金援助をしました。これで三年越しの児童棟と管理棟の改修工事が終了し素晴らしい子山ホームに生まれ変わりました。
- ・今年度も定期的に有志の方々が桜の剪定作業を行いました。その成果として春には今年は少し桜の開花が遅かったのですが、素晴らしい桜並木となりました。4月7日（日）には荒井さんを中心に地域の若山長寿会の方々と剪定ボランティアの方々とお花見がありました。

2019年度の後援会・会員の活動計画

- ・今年度は衣料庫の改修工事、収納スペースを兼ねた多目的ホールへの資金援助を行いたい。また秋バザー（10月の第一土曜日にいすみ市立東海小学校にて実施予定）、クリスマスや進級会への積極的参加はもちろんのこと、引き続き桜の剪定作業、また、少しずつだがあじさいの植え付けは進んでいる状況であり、菜の花の種まきなどについても積極的に環境整備を援助したい。そして、子どもたちの個性を伸ばす様々な活動の援助を続けて行きたい。特に年二回卒園生へふるさと宅急便を贈る活動（子山ふる里化計画）や卒園後に困難を抱えた卒園生に対しても支援・援助（奨学金の返済援助）を継続していきたい。また、新たに子ども活動費としていすみっ子のみでなく今後は地域の女子ソフトボールチーム（現在2名参加）会費補助等や男子のオールいすみ（現在5名参加）への活動費の補助等々。
- また毎年行われており地域からの参加も要請されているサッカー大会また、3月の施設の南総サッカー大会にも毎年必ず参加しておりサッカーの活動も細くではあるが長年にわたり活動は続けている。今から25年前に小学生のユニフォームは寄付を頂いたもの、そして、10年くらい前に小学生のユニフォームは一度揃えたきりです。しかも中学生に関してユニフォームは今まで揃えていません。参考までに昨年の南総サッカー大会では小学生の部、中学生の部とそれぞれ初めての優勝いわゆるダブル優勝となりました。そこで今年は小学生・中学生のユニフォーム購入補助を考えてあげたい。

2018年度決算

(単位：円)

【収入】	摘 要	金 額	備 考
	前年度繰越金	1,327,549	
	寄付金	237,256	バザー
	後援会会費	999,769	
	雑収入	12	利息
	合 計	2,564,586	

【支出】	摘 要	金 額	備 考
	卒園生 奨学金返済	629,184	
	30年度卒園生自立支援金（3名分）	250,000	
	いすみっ子活動資金 （子ども活動費）	8,000	いすみっ子年会費
	合 計	887,184	

収入済額	2,564,586
支出済額	887,184
差引残高	1,677,402

●チャリティーコーナー

敬称略、順不同（平成30年9月11日～令和元年7月16日）

個 人			団 体		
藍野悦子	伊藤みち子	吉田淳	子山ホーム後援会	マイラスク	ほっともっと
渡辺	橋本由美子	力丸裕美	大美屋	フィリップモリス	東昭建設
新山ふじ子	椎名真弓	海老澤浩	吉田米店	鴨川聖フランシス教会	中村発動機商会
大参	奥村	川村英美	小守歯科	小浜郵便局	フィリップモリスジャパン
齋藤由佳	松崎政雄	大多和	吉野新聞店	株式会社チュチュアンナ	源氏肉店
中根恵子	森口ますみ	菰田	セカンドハーベスト	シャングリ・ラ ホテル東京	五洋建設
桑島秀一	佐藤大輔	白井	いすみ農業協同組合	セブンイレブン	山武野菜ネットワーク
太田	大和ヒロシ	丹澤正直	外房こどもクリニック	妙朝寺	東光寺
樽見	道家尚巳	丹澤慶子	佐藤食品工業(株)	小池食堂	パチンコ ABC
橋本崇	齊藤政雄	森	モスバーガー大原店	ダスカジャパンクアウテモック	マームジャパン
木村みのる	岩瀬守	齋藤	夷隅ひなた	コストコ千葉ニュータウン店	キッザニア東京
巨人の星	佐藤秀子	森良子	吉田用品店	ヒルトン東京ベイ	三翔海運株式会社
秋葉眞弓	松岡理恵	高品	BINKAN レーベル	ソニー生命	サンタパイク
山田康弘	藤木勲	佐田	千葉交響楽団	天理教 夷隅長生支部	(株)ムーンバット
渡邊みずき	最首	佐藤智美	三育学院	レインボウ	IVG インターナショナルボラ
石川浩一	阿部元之	川上孝幸	(株)自然派倶楽部	毎日新聞社	ンティアグループ
武宮三千雄	坂東君子	片倉由里子	フェアスタート	ラーメンとん太	吉田外科内科
坂本弘子	市原	浅香良太	日本鏡餅組合	次代の創造工房	房総信用組合
中村玲子	尾形洋子	大田正巳	いすみ苑	松峰工業株式会社	銚子商工信用組合
荒井ふみ子	加賀田	宇田川武昭	nadia IVPO 法人	(株)オリエントコーポレーション君	公益財団法人日本国際協力財団第
長谷川政二	鶴岡節子	伊達直人	家具の十郎兵衛	津信用組合	一生命労働組合
丸山	市原浩一	木野内由美子	千葉県信用組合協会	稔台保育園	レインボー（佐藤幹子・
三好憲子	田仲省一	ワタナベユミコ	ソニー生命保険(株)MDRT 日本会	成田市社会福祉協議会	安増千明・齋藤幸子）
藤巻禮子	薄井	白井茂子	市川社会福祉協議会	みのりの会	
山田恵美子	長柳清	佐藤秀子	小川屋酒店	天徳寺	
石井恒子	左草哲	村田民子	ソニー生命保険(株)MDRT ソニー会	積水ハウス	
大滝雅治	平手光明		明治乳業	デンタルサポート	
松ヶ谷隆	柏田隆徳		KIKUYA 千葉店	全国シャンメリー協同組合	

ボランティアの方々（敬称略）

※平成30年9月11日～令和元年7月16日までの間で活動して頂いた方々です。

- ・NPO法人ブリッジフォースマイル
- ・NPO法人KIDS
- ・(株)ソニー生命
- ・天理教の皆さん
- ・NPO法人Nadia
- ・IVG(インターナショナルボランティアグループ)
- ・マームジャパン株式会社

- ・千葉フィルハーモニー管弦楽団
- ・キッザニア
- ・サンタパイク
- ・いすみ市生涯大学OB：みのりの会の皆さま
- ・読み聞かせ：いすみ市厚生保護女性会
- ・桜をきれいに咲かそう会（桜の剪定）

子どもとの交流

柏田隆徳・三育学院・クローバーサークル（柚山香代子）・高梨庸一・田井秀明・平手光明・藤巻シャノン・浅香良太夫妻・森田雄司

◆◆平成31年度・令和元年度後援会名簿◆◆

（平成30年7月～令和元年7月）

安藤誠	佐野屋呉服店	北山朱美	㈱中善商店	外房こどもクリニック 黒木春郎	美野田哲夫	是枝守
麻生裕	高山義則	佐々木悟朗	(株)大竹商事 大竹操	読売新聞 土気・あすみが丘	塚本清壽	尾崎二郎
浅香良太	高橋昇	斎藤美恵子	大美屋菓子舗	道灌山学園保育福祉専門学校	土屋鐘文堂	藤平郁
麻生剛	藤永健二	三枝美佐子	大原小浜郵便局	マームジャパン株式会社	宮野郁子	天徳寺
浦恭子	乾正子	三育学院	生活クラブ生活協同組合	西村清	高崎交通	東昭建設
梶永光洋	宮崎啓	竹内悦子	井爪康雄・よし子	新山ふじ子	田井菊江	福田辰男
川名正一	岩橋秀高	田中基	税理士法人 フロイデ	西野洋	田中英子	羽賀昭仁
角田敦子	井内欣一	松井秀文	株式会社 千葉日報社	鈴木伸一	渡辺俊夫	長谷川政二
川名正一	榎沢良彦	橋原孝俊・中子	代表取締役 萩原博	杉山榮佑	渡辺恵之助	株式会社 房総
金田升男	中西照満	(株)キタムラ写真商会	株式会社 マルリストアー	安井利雄	小宮山弘美	元倉美登里
佐伯素子	木村とし子	仲佐屋薬局	代表取締役 糸井茂光	藤沼光雄	小林順子	

※後援会費の振り込み用紙は、送付の作業上全員の方に同封してあります。会費は任意ですので、ご了承下さい。

※上記の名簿は平成30年7月～令和元年7月までに納入された方で、それ以降、納入された方は記載されていません。

▽編集後記△

元号が新たに「令和」となり、今号は「新」をテーマに編集しました。子山ホームでも、新しく何かにチャレンジする子どもたちが増えてきているように感じます。我々職員はできる限りの後押しをするわけですが、子どもたち一人一人にとっては相当なエネルギーを要すること。とは言え、「うん、どうしようかなあ」と考え、迷ってしまう子よりも、「オッケー！わかった。やってみる！」と行動を起こす子の方が、失敗することはあっても、この先必ず役に立つ「経験」を手に入れています。

かくいう私は、新たに生まれてくる我が子の名前を「うーん、どうしよう？」と熟考中。着詰まって同僚にアイデアを募ると、帰って来た答えは「海女（あま）ンダ（んだ）」。「たしかに海にまつわる字が入ってるけど・・・」。「オッケー！決めた！」とはなりません。

次号、夏休み中の子ども達の「経験」も含め、タイムリーに皆様にお届けします。でお楽しみに。

△ M・F △

子山ホームだより 第80号
発行日：令和元年8月10日
社会福祉法人
チルドレン・パラダイス
児童養護施設 子山ホーム
千葉県いすみ市深堀685番地
TEL 0470-62-2325
FAX 0470-62-8828
Eメール info@h-koyama.or.jp
http://www.h-koyama.or.jp/